

## 第 13 回番組審議議事録

日時：2024 年 12 月 19 日(木)11:00am

場所：於 (株)QVC ジャパン本社会議室/Web 会議システム

出席者：

委員 岩浪 剛太様、野村 宗芳様、木下 のぞみ様、  
田中 絵麻様、木田 真由美様（オンライン）

当社側：

代表取締役 石原 収

放送編成本部 斉藤 成洋

経営企画本部 堀 憲輔

オブザーバー：

株式会社 QVC ジャパン Content & Sales Strategy

Schedule Senior Manager 井貝 明子

株式会社 QVC ジャパン Advertising Compliance

Manager 寺尾 勝

株式会社 QVC ジャパン Commerce Programming

Program Planner 坂下 展子

株式会社 QVC ジャパン Merchandising

Merchandise Planning Manager 岡本 直人

株式会社 QVC ジャパン Merchandising

Health & Fitness、Kitchen & Food Lead Product Planner 鈴木 潤

株式会社 QVC ジャパン Merchandising

Kitchen & Food Buyer 酒井 徳幸

本審議会においては、下記番組を審議対象とし、委員より意見がなされた。

(審議対象番組)

・ノンフライオープン

\* 2024年9月11日(水) 0:00 放送 (Today's Special Value)

(番組審議委員意見)

- ✓ 少人数世帯向けに、少量調理が手軽にできる点が評価され、従来大型というイメージのあったノンフライオープンの概念を覆す、コンパクトで時代のニーズに合った商品であった。
- ✓ プレゼンテーションは全体として分かりやすく、油を使わない調理の特徴を映像で示した点は、視覚的な理解を助けていた。
- ✓ 一方で、値引き率が非常に高く、その理由について視聴者が納得できる説明があると、より安心感につながるとの意見があった。
- ✓ 本体のガラス部分が高温になる点について、持ち手以外の注意喚起や、調理後に食材を取り出す際の安全面に関する説明があると、より親切であったとの指摘があった。
- ✓ サイズ感については「コンパクトが良い」という評価がある一方、何がどこまで入るのか、具体的な収容量や取り出しやすさについて、より明確な説明が望まれるとの声があった。
- ✓ 多用途な商品であるがゆえに、使う人によって疑問点が異なり、放送後に Web やスマートフォンで補足情報を求める行動が想定される商品であると感じられた。
- ✓ 在庫の煽りや過度な緊迫感はこれまでと比べ抑えられており、落ち着いて視聴できた点は評価された。
- ✓ 番組内で同一ブランドの他商品が紹介された点については、関連性がやや分かりづらく、視聴者の注意が一瞬逸れる可能性があるとの意見があった。
- ✓ 付属レシピについて、番組内の紹介内容と実際のレシピ集との間に期待値の差が生じている可能性があり、説明の仕方に工夫の余地があるとの指摘があった。
- ✓ 全体として、新しいキッチン家電の進化を知る情報番組として楽しめ、テレビショッピング向きの商品であったとの評価が多く見られた。

(当社側の説明・回答 要旨)

- ✓ 本商品の価格設定については、メーカーおよび当社双方が利益を抑え、商品の認知拡大を目的とした特別価格であった。
- ✓ ガラス部分の温度や安全面については、より明確な注意喚起を行うべきであり、今

後の番組制作に活かしたい。

- ✓ コンパクトサイズは、少人数世帯や日常使いを想定した設計であり、対流効率や調理状態を外から確認できる点も特長である。
- ✓ レシピ紹介については、レシピに掲載されているものと掲載されていない活用方法の違いが分かるよう、表現の工夫を検討する。
- ✓ 映像や音響、カメラワークを通じた臨場感の演出については、今後も改善を重ね、正確で分かりやすい情報提供を目指す。
- ✓ LINE 等を用いた視聴者との双方向コミュニケーションは、購買判断を支援する手段として引き続き試行していく。

以上

